

温浴業界の総合情報紙

SAUNA



2011 May. No'417

SPA

日本サウナ・スパ協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-30 アルス市ヶ谷907 TEL:03-5275-1541 FAX:03-5275-1543 http://www.sauna.or.jp

平成23年度 第1回理事会開催

社団法人日本サウナ・スパ協会は4月28日、平成23年度第1回理事会を秋葉原UDXビル8階会議室（東京千代田区）において開催した。中野憲一会長の挨拶の後、同氏を議長に選任、若林事務局長が理事会成立を宣言して以下の議題に入った。

▶平成22年度事業報告の件

事務局より各部会の活動報告の説明があり、審議の結果原案どおり可決、5月27日の通常総会において諮ることとした。

▶平成22年度収支決算の件

会計担当の織茂明彦氏より説明があり、審議の結果、収支決算については原案通り可決、5月27日の通常総会において諮ることとした。

▶役員の一部選任の件

林浩美氏より東京都協会所属の理事である井上

義三氏より健康上の都合で退任の届けが出ており、同氏に代わり同協会の吉田秀雄氏（株秀斗代表取締役社長）を理事に推薦したい旨の説明がされた。審議の結果この推薦案を承諾し、5月27日の通常総会において諮ることとした。

▶日本赤十字社への義援金の件

事務局より、加盟店フロントにて受付をお願いしている義援金を5月10日で一旦締め、日本赤十字社本社へ送る旨の説明がされた（下記に関連記事）。今回のような急を要する事態においては迅速な被災者支援が望まれるが、大きな組織を通じては難しい。協会が宮城県避難所に設営したテントサウナが実質的に被災者の生活に役立ち感謝の声が寄せられていることを鑑み、目に見える復興支援活動を、という意見が多数出された。審議の結果、5月11日以降は募金箱のリーフレットを変更し、募金使途を東日本大震災被災者の直接支援を目的に寄付金を受け付けることと了承し



た。引き続き温かいご支援をお願いします。

▶推奨商品の件

事務局より、賛助会員である(有)効仙薬湯本舗代表取締役保坂頼子氏より、入浴剤「救養草」の推奨審査申請があった。審議の結果、温浴の発展と不特定多数の国民の健康に貢献する等の理由で同商品を推奨することを出席理事全員で可決した。

▶その他の報告事項

- ・協会および会員による被災地支援として、テントサウナ（女川）、サイエンス(株)の「希望の湯」（石巻）、神戸サウナ&スパのマッサージ慰問（仙台、石巻）、東京都協会加盟店で都内に避難している被災者の無料入浴受け入れを実施することなどが報告された（2面に関連記事）。
- ・新入会員として勝どき湯（正会員）、株式会社エスコ（賛助会員）の入会が承認された。

新入会員紹介

正会員

会社名：株式会社ワイズホールディングス
店名：勝どき湯
代表者：吉川 勲
担当者：徳永 誠
住所：大阪市北区小松原町4-16
ラウンドワン梅田B1.B2
電話：06-6312-4126

賛助会員

会社名：株式会社エスコ
代表者：高木康則
担当者：田中一好
住所：新宿区新宿2-5-10 成信ビル2階
電話：03-5366-3373
FAX：03-5366-3668
取扱業種：公共料金の省エネ、省コストダウンコンサルティング
URL：http://www.esco-co.jp/

携帯用QRコード



協会ホームページでもご覧になれます。
<http://www.sauna.or.jp/>

合計2,516,202円の義援金を日本赤十字社に入金しました

各加盟店で受け付けていただいた義援金を5月10日で一旦集計し、合計2,516,202円を日本赤十字社に5月16日付で振り込むことをご報告するとともに、たくさんのお客様の温かい善意に感謝いたします。引き続き、被災者直接支援のための募金受付をSAUNA・SPA紙面でご報告させていただきます。

■東日本大震災義援金入金状況(5月10日現在)

オアシスサウナアスティル	49,620	朗月(株)	373,165	福日観光(株)	10,542
(株)東新アクア	126,083	サウナ東京ドーム	55,000	ニュージャパン観光(株)	339,931
阿蘇ファームランド	3,414	楽天地SPA	82,125	サウナアンドカブセルミナミ	20,500
サウナサン	4,232	サウナ&カブセルイン岡山	21,539	相模健康センター	83,019
(株)ウェルビー	149,349	北大阪振興(株)	46,267	草加健康センター	171,795
横須賀建物(株)	9,927	アベゼ	91,847	東名厚木健康センター	167,140
(株)リブールコーポレーション	71,776	アジア総合企業(株)	6,516	(株)希風	42,242
(株)トーセン	44,227	国際企業(株)	58,800	日新観光(株)	59,984
ハイランドサウナ	6,484	アダム&イブ	9,817	東洋健康ランド	208,826
(株)千歳観光	168,825	ジョイフルサウナフィンランド	33,210	(単位円)	

デモンストレーション承っております(什器類も貸し出し致します)お気軽にご連絡下さい

改良品登場

香り約3倍
使用量半分

酒風呂 極まる。

10L ¥9,800

本物の酒風呂『菊正宗 美人酒風呂』

日本酒ブランドの雄「菊正宗」が生み出した、「本物感」たっぷりの入浴剤です。菊正宗が織りなす豊かな日本酒の香りと、化粧品にも使用されている日本酒の「保湿成分」による、しっとりとした肌の仕上がりが大変好評を頂いております。他店との差別化にぜひオススメさせて頂きたい商品です。

販売用もご用意

◎今私たちに

東京都協会

無料入浴券を配布しています

東京都協会会長 林浩美

福島等から都内に被災者の避難が始まったのは3月17日の夜からだったと思いますが、それから間もない3月22日、味の素スタジアムの近隣に位置する「深大寺温泉ゆかり」（東京都調布市 城山産業(株) 代表取締役原島敬之氏）さんがいち早く無料入浴サービスを始められました。施設の送迎バスで送り迎えし、初日約30名が温泉やマッサージなどで疲れを癒した様子はテレビでも紹介されました。

現在、東京都は味の素スタジアム、都営住宅、旧グランドプリンスホテル赤坂など、都管轄の施設に約3500名ほど（各区の受け入れ数は不明）が



避難してきているとのことです。

不便が多い仮住まいを余儀なくされておられる被災者の方々に、東京都協会は裏面に使用可能施設を明記した無料入場券を13日より配布します。

チケットは旧グランドプリンスホテル赤坂の都の被災者サービスデスクで管理していただき、確認のうえ一枚ずつ渡して頂くことをお願いしております。

風呂を補ってなお余りある テントサウナ

設営時に手伝えず、気になっていたテントサウナの様子を見に女川町へ行ってまいりました。テントサウナのある御前浜（おんまえはま）の避難所には現在三十数名の方が暮らしています。毎日午後3時頃から火を起し、テント内が80度くらいになると、男同士なら素っ裸で、男女が一緒に入る時にはウェルビーから提供されたガウンを着て入るそうです。実に丁寧に使われており、ストーブの上に桶を吊るし、そこに医療用のゴムチューブを差し、80度になったらコックをひねって自動的に水がポタポタとストーブにかかるような仕掛け（写真参照）で湿度を保つ工夫までされているのには、こちらがびっくりさせられました。



ガレキを片付けると喉をやられるが、サウナに入るとスッキリする、風邪気味で咳が出るときもはなはだ具合が良い、高血圧で風呂を控えていた方もサウナなら調子が良いなどと、感謝の気持ちがこもった感想が次々と寄せられました。将来、浴室が出来てもテントサウナを継続して使わせてもらえるよう計らって欲しいという申し入れまであり、テントサウナは風呂を補って余りあるほど、避難所暮らしに役立っていたことを報告いたします。

肉眼で見る女川の町はこの世の出来事とは思えない惨状でした、その地で役だっているテントサウナの様子、映像にも撮りましたので是非ご覧ください。（※希望者は事務局まで）

支援報告 ニューウィング

ガレキ撤去と炊き出しをしてきました

ニューウィング [株]ヴェルディ 東京都墨田区]は4月20日から3泊4日、4名で宮城県岩沼市(仙台空港より3km)にてガレキの撤去と炊き出しをしてきました。現在県外からのボランティア受け付のルートは定まっておらず、即行動するための情報はインターネットのみでした。それでも現地入りすることが大切だとの思いから計画を立て、行動を起こしました。

4月20日夜8時、レンタカーを借り、荷物を積んで出発。少し仮眠をとった後、早朝より夕方まで見るも無惨な状況を少しでも片づけることができればと、ガレキの撤去を行いました。この惨況が何百kmも続いているのかと思うと唖然としてし

まいましたが、一步一步、現地の方とともに進んでいくしかないとを思い知りました。

炊き出しは、ふさがちな気持ちを元気づける食事でありたいと願い、焼肉で精をつけてもらおうと、二日間にわたり焼肉150人前を提供。皆さんに食べていただきました。

全走行距離約800km。支援物資としてミネラルウォーター300ℓ、トイレットペーパー200ロール、バスタオル300枚、毛布50枚、焼肉150人前を用意。24時間営業の当店にとって、4名が動くにはスタッフ全員の協力があったので、自分たちにとって全力を尽くした活動でした。

短い時間でしたが、行っはじめて知ったことは大きく、次の計画と東京での支援方法について摸索しています。



できること

支援活動取材 賛助会員 サイエンス(株)

石巻市 湊小学校避難所に大型仮設温浴施設『希望の湯』を設営



サイエンス株式会社(埼玉県さいたま市 代表取締役桑原克己氏)は、中越地震を経験した企業など8社で、宮城県石巻市の避難所、湊小学校の校庭に大型仮設温浴施設『希望の湯』を設営した。4月16日、石巻市長の亀山紘氏がガレキの木材をボイラーにくべるオープンセレモニーを行った後、『希望の湯』は住民に開放された。震災以降入浴してない方もおり、非常に喜ばれ、今ではこの避難所に無くてはならない施設となっている。5月4日、メンテナンスと協賛企業の支援物資を届けに石巻入りした桑原氏に同行し現地取材した。



写真左上：苦勞を共にした『希望の湯』プロジェクトメンバー 中央：昼間は自然光で明るい浴場
右上：入浴気分を盛り上げる『希望の湯』の旗 下左：亀山市長に報告 下中：設営には大型クレーンを使用
右下：浴槽の水漏れに泣かされた

「風呂のおかげで地域のコミュニケーションが非常によくなりました」

石巻の港から湊小学校までは400mほど。以前は海産物販売所や保冷倉庫、食堂や一般住宅などが密集していたが、津波で流され今は見る影もない。この近辺のガレキには保冷倉庫から流れ出た海産物が混ざっているため、町全体が魚の臭いがする。雨が降るとガレキの泥で地面がグチャグチャ、日照りになると泥が風に舞いマスクなしでは歩けない。これが今の石巻だ。

5月4日、桑原氏はまず報告書を持って亀山市長を訪ねた。設営場所選定や水道が通るまでのタンクローリーでの給水等、市長の協力なしでは実現しないプロジェクトだった。市長は桑原氏の労をねぎらう感謝の言葉の後、「おかげで地域のコミュニケーションが非常によくなり、落ち着きました」と続けた。この環境で風呂がないと一層疲労がつものだろうことは、現地に入ってみて始めてわかる。被災地での風呂は、都会での風呂とは意味も価値も違う。

『希望の湯』には協力会社の社長たちがすでに来ており、自社の機械の調子を見ていた。機材集めの奔走から始まり施工時には社員を同行して共に汗を流し、夜は凍えて過ごした同士たちだが、「GWは社員を動かさないよ」と、どこも社長一人が来ている。すでに電気が通じ、水道も使えたので、桑原氏は濾過機の自動運転設定、浴槽の塩素濃度確認、施設の運営にあたってくれているN G Oの担当者への説明など管理の打ち合わせに余念がない。

「シャワーも浴槽もあるこの風呂は近辺で一番。風呂って体を洗うためだけじゃないからね」

昼の12時から開く「希望の湯」。1辺10mほどの四角い大きなテントを真ん中で仕切り、男湯と女湯を作っていた。脱衣所には協賛企業から集められたタオルや髭そり、石鹸などの入浴道具が並べられ配布されているが、被災者に一巡してからはあまり減らないということだった。浴場にはハンドシャワーが5つ。協賛企業からの洗面器、椅子などがありその様子は普通の銭湯と同じ。ブルーシートで作られた大きな浴槽には湯がたっぷりと張られている。

目を閉じてゆっくり湯船に浸かるご婦人に声をかけてみると、写真撮影は断られたものの、快く話を聞かせてくれた。

「中越地震の被災者が作ってくれたんです。これが無い時には眠れなかったんですが、お風呂に入ると良く寝られるので2日に一度は必ず入っています。お風呂に浸かってボーッと目を閉じると、今のことが嘘みたいでねえ…」。

『希望の湯』は男女それぞれ1日100人ほど入ることができ、近隣の住民にも開放しているため、入浴は2日に一回が一応のルールとなっている。

男湯から出て来た人は、「この辺りにはこの風呂以外に自衛隊の3か所の入浴施設に行ったけど、シャワーだけだったり、湯船だけだったりして、普通の銭湯と同じ設備があるのはここだけ。他所に行ったことがある人はここが一番だと分かっている。だから他所からもここに来るでしょ。風呂って体を洗うためだけじゃないからね。疲れた体にこの風呂は極楽だよ」

関係者が泣きたくなるような褒め言葉だった。

風呂屋だから、被災者たちのために何が何でも造ると決めた

体を張った大規模なボランティアを展開し、今もなお施設の管理の責任を負う桑原氏に、何が一番大変だったかを尋ねてみた。

「私は風呂屋だから、風呂がなくて困っている被災者たちに何が何でも造ると決めたんです。ですが最後まで泣かされたのは浴槽です。当初浴槽が見つからなくていろいろな会社に片っ端から電話しました。どうにか古いプールが見つかり現場に持ち込んだのですが、工事のために現地入りした4月13日にはまだ電気・水道がないうえ、設営場所の整地から始めなければならず、機材不足、情報不足、アクシデント続出で設営は困難を極めました。土台が完全に平らではないためにプールの継ぎ目から水漏れするのはまいました。致し方なくブルーシートで覆い、そこに水を張ることにしたわけです。出来ない条件をあげたらきりがないうちで、絶対にやり遂げる！という意志と情熱と準備の徹底が事を成す、ということを経験しました。これも、大勢の方々のご協力のおかげです。協会の皆様にもご支援を賜り、本当にありがとうございました。災害地の方々が入浴を通して少しでも安らげ、今後の復興に希望が持てたらと祈るばかりです」

温浴施設は設営だけでなく、衛生基準をクリアした管理運営が必須。行政に管理の委託を打診はしたものの、難しい感触。離れた場所で、今後どのように管理を行っていくか、桑原氏の被災地支援はまだ続く。

賛助会員紹介



(株)エスコ

2万社の実績を持つ 節電のプロが協会に加盟

政府は今夏、電力使用量の前年比15%削減を求める方針。それを受けて各所で省エネ対策の専門家を招いた緊急勉強会が開催されている。そんな中、業種を問わない公共料金の削減で2万社の実績を持つ株式会社エスコが賛助会員として新しく協会の仲間に加わった。代表取締役社長の高木康則氏に今取り組むべき節電について話をうかがった。



株式会社エスコ
代表取締役社長 高木康則 氏

成功報酬で出費なし コスト削減コンサルティング

私どもエスコは、創業以来、お客様の省エネ・省コストのコンサルティング会社として常に最新の商品とサービス、当社独自のノウハウでお客様のコスト削減に取り組んでまいりました。また、電気料金の削減、ガスや水道の契約料金の変更、ESCO事業による光熱費の見直しなど、お客様がこれまで当たり前のように支払ってきたエネルギーコストを適正に削減する方法を提案させていただきます。見直しとは、携帯電話の料金プランを例にとると分かりやすいと思いますが、通話量の多い方は基本料金は高くても30秒単位の通話代金の安いプランを、ほとんど使わないけれど一応持っているという方は通話代金が割高でも基本料金の安いプランを、といった具合で使い方に合った料金プランで契約をしているはず。ドコモショップ等に相談すると、ここ数カ月の利用状況からお客様に合ったプランを教えてください。公共料金もそれと同じことが出来るのですが、利用者が電気会社に相談しても相手は商売ですから安く

なる方法を簡単には教えてはくれません。そこで皆様に代わり私どもプロが交渉をさせていただくわけです。あくまでもコンサルティング業務として削減できた金額の中からの成功報酬でやらせていただくため、過去1年の公共料金の明細を拝見して検討させていただき、効果を出せない場合はもちろん費用はいただきません。

15%削減しながら LEDで店内の明るさを保つ

電力の総量規制など、この数年私たちは本格的な節電を迫られます。震災以降、節電をなさっておられるとは思いますが、サービス業ですので館内を暗くしすぎるわけにもいきません。これ以上電気使用量を下げるにはLEDを使わざるを得ないのです。国産メーカーはまだまだお高いですが、当社は韓国サムソンと特別な契約をしております、国産に比べると格安で導入していただくことができます。LEDに関してはサムソンは世界一の企業で、国内のLEDはOEM生産でサムソンが作っているものも少なくありません。国産LED

Dは1年保証が限界ですが、サムソンに関してはメーカーより5年保証がついているためリース契約も可能です。コンビニ等24時間営業している店舗にLEDを入れると約2年で償却できます。夏季を目前に、冷蔵庫やエアコンの使用量を下げることによって15%の削減は至難の業ですから、急いで換える店舗が増えています。

LEDへの交換経費に関しても、料金プランの交渉により下がった金額でLEDを買うといった方法を取ることで、実質的に出費のないまま電気量を下げることができ、しかも館内を明るく保つことができるというわけです。ただ、国を上げて節電をしている時期に館内が明るいと、お客様から批判を受けかねませんから、「館内15%節電達成中ですが、お客様の使用スペースはLED使用のため半分の電気量で明るさを保っております」等の節電履行のお知らせを掲示することで、企業努力と顧客サービスのアピールにもなるのではないのでしょうか。

豊富な経験と数多くの実績、培ってきたノウハウを基に、当社だからこそできる充実したソリューションサービスを提供し、包括的な提案力で電力の抑制とコスト削減によりお客様に利益を生み出すよう支援してまいります。

企業競争力の強化や経営効率の改善に貢献することが我々の使命であり、それを実現することでさらに信頼されるパートナーとなることを目指していきます。まずは「うちの店の電気・ガス契約を見直してみよう」と、気軽にご相談の電話を入れて下さい。お待ちしております。

お問い合わせ先：同社 田中一好
☎ (03) 5366-3373 まで

PSE

サウナなどの特定電気用品は菱型のPSEマーク商品

経済産業省管轄の電気用品安全法の性能規定化に向けた整理及び見直し事業として、当協会が日本の主要工業会の一つに選出されWG8委員として若林幹夫氏が参加しています。独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）の委託のもと、約450品目中電気サウナバス、電気スチームバス等をはじめとする13品目の検討作

業を当協会が分担し、今後の技術基準の骨組み策定作業を行いました。

電気用品安全法は、一般電気工作物に接続される10kW以下の電気用品の安全性の確保を目的としておりますが、この範囲内のサウナ、スチームバスなどの特定電気用品は、経済産業省の適合性に合格し菱型のPSEマークを表示

された製品である必要があります。サウナ及び電熱器などの電気用品をご購入する際は、専門メーカーが製造する安全品質が確保された製品を購入しましょう。また、電気用品には寿命があります。劣化しますと故障のみならず事故の原因になりますので、安全を最優先した買換えやメンテナンスをお願いします。



「ロックフェイスサウナ」
「イズネス」

サウナの新主流はロウリュウサウナへ。
圧倒的な熱波がサウナ新時代の流れを、
人の流れを生み出します。

コンパクトながら熱波は強力。
デザイン性に優れた省スペース型。



ikisauuna